

ハート・オブ・ゴールド

通信



vol.50

2024年1月15日発行

発行/編集 ハート・オブ・ゴールド事務局
本部 〒701-1213 岡山市北区西辛川 895-7
レジデンスアロー 101
TEL&FAX 086-284-9700
E-mail: hginfo@hofg.org
<https://www.hofg.org/>



12月2日 NCCCにて 全員揃いのTシャツで

HG 設立 25 周年を迎えて

代表理事 有森 裕子

1998年の設立から25年の月日が経ちました。ついこの前20周年を迎えたばかりのようで、時の過ぎるのは本当に早いものです。

今年はアンコールワット国際ハーフマラソン(AWHM)にあわせて、2019年以来中断していたツアーを再開することができ、共に活動できる喜びをあらためて感じています。

今回はAWHMと姉妹マラソンである「かすみがうらマラソン」から実行委員会と派遣ランナーの方々、TAO(東洋医学研究会)デンタルチームメンバー、ツアーご参加の皆様と一緒に、11月30日にシェムリアップ入り。



12月1日チェイ小学校歯科検診
参加されていた保護者の方々にも、歯磨きの大切さを伝えることができました。この活動は、10年前から行って

翌12月1日にはプノンペンスタッフに加わり、デンタルチームが主導してチェイ小学校での歯科検診とブラッシング指導を行いました。午前中で約330人の子どもの口腔内をチェックできました。ちょうどカンボジアの新学期のスタートと重なり、入学式に

いますが、残念なことにコロナ禍の間で虫歯率は高くなっていました。子ども達の健康とQOL(生活の質)向上のため、またこれから地道に活動を行っていきます。

2日のNCCC訪問では、子ども達のクメールダンスによる出迎えと施設案内、歯科検診と交流を行いました。藤沢ロータリークラブ様からご支援いただいた冷蔵庫や掛け時計もお披露目できました。



12月3日AWHM ゴール前でランナーを応援

3日はアンコールワット国際ハーフマラソン。21kmスタートは、夜明け前の5時30分で、暗いなか78カ国10,154名のランナーが次々とやってきます。そのうち、カンボジア人が7,197名であることが、この大会がこの国に根付き、愛されている証と、本当にうれしく思います。

私達の活動は、その時々ニーズにあわせ模索し、形を変えながら進んできました。これからもカンボジアの人々、そして日本の仲間と、共に手を携え成長していくことを願っています。感謝を込めて。

ICT 化による質の高い 4 年制体育教員養成大学支援プロジェクト

プロジェクト・マネージャー 手束 耕治

カンボジアの中高体育教員養成校（NIPES）を 2 年制から 4 年制へ移行する支援事業の第 2 期目です。

NIPES の 7 分野（①図書館、②国際センター、③内部評価、④教員養成、⑤学生管理、⑥卒業生支援、⑦安全管理）を、ICT 化を通じて向上させることを目的としています。

中心である ICT 化の活動では、8 月 22 ～ 24 日に Web 開発及びデータ管理基本計画策定ワークショップを開催しました。教育省 ICT 副局長より、省の基本政策を学び、プノンペン教員養成大学 ICT 学部長からは ICT を活用した学校管理システムとその教育と学習の取り組みについて学びました。また、本事業のシステム開発担当の日系企業から、ネットワークのシステムや利用方法、ウェブサイトのイメージの説明を受け、今後の計画を明確にしました。

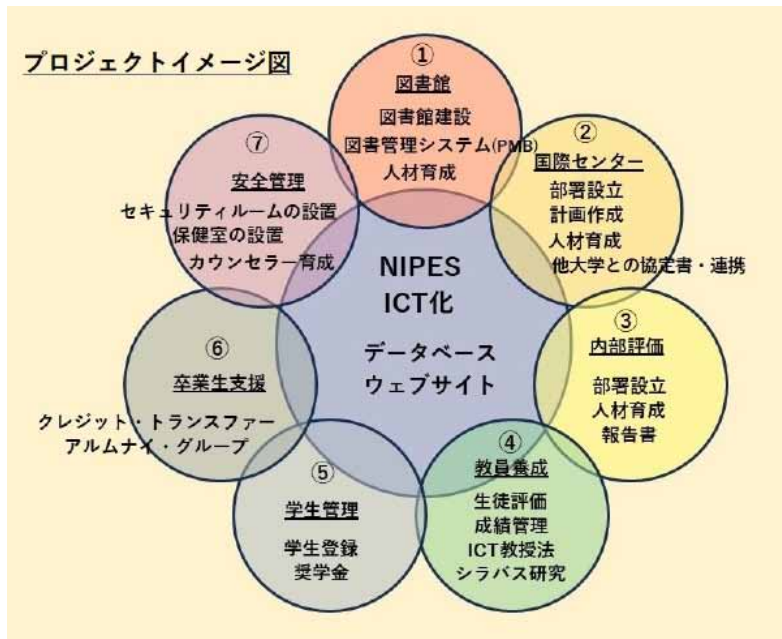
また、本邦研修に参加した先生が、日本の体育大学における ICT の活用について説明し、参加者を対象に模擬授業を行い、現状と今後の課題を理解しました。

③内部評価の活動では、9 月 6 ～ 8 日に NIPES 内部評価人材育成ワークショップを開催しました。NIPES の内部評価（IQA）の現状を知り、カンボジア高等教育認定機構（ACC）が定める 9 項目（大学職員、学部プログラム等）のうちいくつかを例に挙げ、内容やその評価方法と評価基準を明確にしました。今後の担当を決め、次回の評価ワークショップまでに根拠となる情報を集め、その情報を IQA メンバーで共有し評価をすることを目標にしました。

④教員養成の活動では、7 月 5 ～ 14 日に NIPES の教員 3 名が本邦研修に参加し、日本体育大学のラーニングマネジメントシステム（教員や学生が利用する Web システム）の説明を受けました。また、NIPES の授業の質向上を図ることをテーマに、同大学の岡出美則教授の講義、日本体育科教育学会第 28 回大会への参加や日本女子体育大学の ICT を活用した実際の授業を見学しました。

NIPES の ICT 導入による教員、事務職員、生徒、関係者にとってどのような利点があり、どのような課題があるのかを理解し、最終日には参加者がそれぞれ NIPES の学習管理システム、国際センター、教員養成において ICT 活用を促進するためのアクションプランを作成しました。

各分野はそれぞれが関連し合っています。②国際センターや④教員養成に関連する活動として、10 月 30 日～11 月 1 日までタイのマハサラカム大学で開催されたアセアン体育スポーツ学会（ACPES2023）にも参加しました。ASEAN 加盟核国から学生や先生が約 200 名参加し、体育スポーツについて約 60 件の発表がありました。



10 月、ACPES 学会 2023

ありました。

西山事務局長もゲストスピーカーとして、「カンボジアにおける体育発展の要因分析と ASEAN 諸国への適用の可能性」について発表しました。NIPES の各国の学会メンバーへの加入による研究の可能性や、ASEAN 各国の大学教員とのネットワークが広がり、更なる発展に繋がればと願っています。

私は2017年頃からパラリンピック委員会に選手として登録し、トレーニングを始めました。アンコールワット国際ハーフマラソン、パラ陸上競技会、トレーニング研修等様々なハート・オブ・ゴールドのプロジェクトに参加してきました。

2023年6月に初めてカンボジアで開催されたASEAN Para Games（東南アジアパラ競技大会）では、車いすT53（障害クラス）100m及び200mで銀メダルを獲得することができました。自国の大会でメダルを手にしたことは本当に嬉しいことでした。その後カンボジア政府から賞金を受け取り、私の人生は大きく変わりました。

トレーニングしながら通っていた大学を無事に卒業することができ、また、車を購入しました。これまではバイクに競技用車いすを積み、移動していましたが、雨の日も楽に移動することができるようになりました。また、車いすのタイヤや部品等スポーツを続けるうえで必要なものも買い揃えることができました。



競技用車いすタイヤと白い車を購入

パラ陸上アスリート Hea Hok（ヒア・ホック）

そして、11月に結婚しました。人生のパートナーを見つけることができたのも、スポーツを始めて自分に自信を持てるようになったからかもしれません。スポーツを始める前は、経済的な余裕がなく、勉強を続けるのは難しい状況でした。また、障害があるせいか、あまり友達もできませんでした。ASEAN Para Gamesでは、大会の広告塔として様々なメディアに取り上げられ、チラシのモデルにも起用されたことから、たくさんの人に話しかけられ、友達もたくさんできました。

スポーツを続けていき、自分の家を買うこと、自分のビジネスを始めることが夢です。また将来はコーチになりたいと思っています。これまで我々をサポートしてくださった皆様に感謝しています。ハート・オブ・ゴールドのプロジェクトはスポーツを始める・続けるきっかけを与えてくれました。私の人生が良い方向に進んでいることを、支援してくださった皆様にお伝えしたいです。本当にありがとうございます。

【JICA 草の根技術協力事業】

カンボジア王国 小学校から高等学校まで一貫した高い質で学ぶ
「Physical Education for ALL」プロジェクト



岡山県浅口市立金光小学校にて

9月29日～10月7日まで本邦研修を実施しました。

真剣な眼差しで岡山県立城東高校での体育の授業を見つめる目。研修員の一人、スヴァイリエン高校のSok Vannarin先生は、日本の先生方にたくさんの質問をしました。とりわけ、創作ダンスの授業方法については、カンボジアでも多くの先生方が関心を持っていて、授業を重ねるごとに課題を難しくしていく方法や、音響機器をはじめとする道具の準備方法などに感心していました。生徒達が毎回の授業で新たな課題に挑戦できるように授業を計画していく方法は、カンボジアでも是非実践していきたいと話さ



本邦研修 岡山大学でのアクションプラン作成

プロジェクト・オフィサー 森 洋貴

れていました。

カンボジアでは野球はあまり知られていません。岡山市立岡南小学校で野球型の運動「ティーボール」を視察したとき、アンロンベル小学校のYin An教頭先生は興味深く授業を観察し、「この運動を私の学校でも是非紹介したい!」と話され、日本の体育の授業がカンボジアの先生方の心を動かしていることを実感しました。

研修の終盤、岡山大学においては、原祐一准教授にご指導いただき、この研修の経験をカンボジアに還元する方法について話し合い、アクションプランを作成し発表

しました。研修者の皆さんがカンボジアの体育科教育の未来につなげる内容を熱く発表される姿から、カンボジア体育のますますの発展、より多くの子ども達の笑顔が目に見えます。

今回の研修で学んだことをカンボジアでも実践し、子ども達が、健やかな身体と豊かな心を共に育てていく体育が広がっていくことを期待しています！

HG ももたろう日本語学校

プロジェクト・マネージャー 井上 恭子

■ 交流活動

チェイ小学校に移転して1年になります。日本からの訪問受入も本格的に実施するようになり、日本語を学ぶ子ども達にとっては、実際に話す機会が得られ、良い刺激になっています。

8月には、神戸学院大学社会防災学科の学生さんが、初級クラスで子どもとグループになり、子どもが半年間に覚えた単語カードを作りました。日本語、身振り手振り、イラストを使ってコミュニケーションをとり、単語決めから、絵（表）と読み（裏）を協力して仕上げました。発表を始めると単語当てクイズに変わり、更にその単語の綴りクイズに発展していき、授業が動いていくのを感じるなかで、ティアラ先生は的確な指示を出していました。どの子も積極的に手を挙げていて、間違えた子や自信のなさそうな子にはペアの大学生がサポートをして、みんなで作り上げた授業は大成功となりました。



■ 留学生

5月から岡山学芸館高校に留学しているスライマイさんは、生活にも慣れ、友達もでき、日本語学習をはじめ、和太鼓部の発表、学校行事などに参加し、充実した毎日を楽しんでいます。日本での貴重な経験が、帰国後の生活の糧となることを願っています。

ニュー・チャイルド・ケアセンター (NCCC)

プロジェクト・アシスタント 平井 利恵

■ 子ども達の衛生指導

インターンが生活指導を中心に活動する中で、衛生指導を行いました。日本の石鹸は品質がよく、カンボジアではとても喜ばれます。石鹸を使ったシャワーを浴び、食事前の手洗いを指導をしています。

若い年齢の子どもには皮膚が弱い子が多くいます。皮膚炎・内科系の感染症には、清潔を努めることが身を守るためのキーポイントになります。



■ お誕生日会

4ヵ月に一度のお誕生日会を街中のピザ屋さんで開きました。生まれて初めて食べたスパゲティのおいしさにびっくりし、おかわりしてもすぐなくなる程でした。おしゃべりをしながらお腹いっぱい

いになるまで食べていました。

一緒に生活する仲間から、「お誕生日おめでとう」と、自分が生まれてきたことを祝ってもらう喜びを積み重ねて、成長して欲しいと願っています。

■ NCCC Tシャツ

ツアーの再開に合わせ、NCCCT シャツが復活しました。SmallArtSchoolで絵画を学んでいる子ども達の作品の中から、毎回1つのデザインを選びます。今回は、チョーム・スライミエンさんが描いたアンコールワット遺跡が選ばれ、とても喜んでいました。

日本国内でも販売予定です。

一つ一つの経験と喜びが重なり、自信につながります。これらが更に頑張る力となっていきます。



理事 田代 邦子

現在、戦争、紛争で、毎日多くの子ども達が亡くなっているニュースに心傷む日々です。建築は多くの時間と

資金を必要としますが、破壊は一瞬です。カンボジアも日本も、平和が訪れて子ども達が安心して暮らせています。子ども達の心の中に平和の種を育てたい。

10月、岡山市立野谷小学校での出前授業、岡山市立第3藤田小学校とNCCCとのオンライン交流、11月には学芸館高校インターアクトクラブと日本語教室の子ども達とのオンライン交流など、継続した活動がなされています。12月末には、学芸館高校1年生30名がNCCCとHGもたらう日本語学校を訪問して、研修を深めました。

日本とカンボジアの子ども達は、交流することによってお互いの違いを理解し、海の向こうに友達を作ります。平和、分かち合いは身近なところから始まっています。



オンライン交流会の様子

インターンシップ

2022年12月から2023年12月まで1年間、大学生2名がNCCCで活動を行いました。

◆ 明治学院大学 木下由奈

活動期間：2022年12月12日～2023年3月27日
：2023年8月1日～9月27日

2回目の活動となる8～9月は、日常生活や衛生面の向上、子どもとコミュニケーションをとる時間を増やす、スタッフ同士のコミュニケーション強化に取り組みました。また、毎月購入していた備品（洗濯洗剤やシャンプー等）を始め、無駄遣いを減らすことに取り組みました。そして、NCCCでの生活が日本からの寄付によって実行できているということを子ども達に実感してもらい、継続することに努めました。

学習に関しては、前回の習慣が子ども達に残っており、初日から小学生達が『勉強したい!』と言ってくれたことはとても嬉しかったです。

今回は私自身のクメール語の向上もあり、子ども達との意思疎通ができるようになったと感じています。

◆ 岡山大学 村田はな

活動期間：2023年9月10日～12月8日

NCCCでの約3カ月間は、自分にとって初めて海外経験となりました。子ども達の生活、主に洗濯や食事に関するサポートや衛生面の改善に努めました。言語の壁がありながらも、写真や動画を用いて手洗い、歯磨きなどの基本的な指導を行い、現地に日本人スタッフがいなくても習慣になることを目標としました。自分の育ってきた日本とは文化も価値観も違うカンボジアという国で、実際に子ども達の生活に関わること



NCCCの子ども達と木下さん（左2人目）、村田さん（左4人目）

ができたのは非常に良い経験でした。わたし自身が教えられたり考えさせられたりすることのほうが多かったような気がします。

チャリティゴルフコンペ

ハート・オブ・ゴールドは、10月10日に25周年を迎えました！

当日は、岡山の後楽ゴルフ倶楽部にて、アニモの会世話人会有志の方々により、チャリティゴルフコンペが開催されました。天気にも恵まれ、4人3組で18ホールを回りました。ハート・オブ・ゴールドからの参加は、有森代表と西山事務局長の2名。皆様とラウンドを楽しむため、インとアウトで入れ替わりプレイしました。賞金も用意され、また、ハート・オブ・ゴールドのロゴがプリントされたイエローボールとカンボジア産カシュエナッツは参加賞として皆様に。

今後も、より多くの方にご参加いただけるよう、内容を工夫していきます。今回は岡山で開催していただきましたが、他の地域、団体様でチャリティ・ゴルフ・コンペをご検討いただける場合は、ぜひ事務局にご連絡ください。



プレイ前の集合

第13回親子チャリティマラソン in おもちゃ王国



長引く暑さが続く9月10日朝、272名の参加者を迎えて開催しました。小さくてもジュニアコース(4km)に挑戦する、友達と競って走る、お子様を励ましながら伴走する保護者様など、たくさんの親子ランナーが笑顔で参加してくれました。

これまでカンボジアの小学校に37基の鉄棒を設置し、今回の大会で更に3基増える予定です。

鉄棒は、ハート・オブ・ゴールドがカンボジア王国教育・青年・スポーツ省と協力して実施している「新しい体育」に取り組む小学校に贈っています。

主な活動報告 (2023 年後半・敬称略)

- 7/4 奈良県経済倶楽部火曜午餐会 代表講演
- 7/5-14 NIPES 本邦研修
- 8/11 岡山学芸館高校研修受入 (NCCC)
- 8/28 神戸学院大学社会防災学科研修受入 (日本語・NCCC)
- 9/2 国際協力基金来訪 (NCCC)
- 9/8 岡山県教育長表敬訪問
- 9/10 第13回親子チャリティマラソン in おもちゃ王国
- 9/29-10/7 JICA 本邦研修
- 10/10 アニモの会チャリティゴルフコンペ
- 10/20 日本映画祭 HG ももたろう生徒鑑賞
- 11/7 岡山市立野谷小学校 出前授業
- 11/9 岡山市立第三藤田小学校 オンライン交流 (NCCC)
- 11/10 ランプロシユーズ贈呈式
- 11/17 認定NPO法人の「認定」更新
- 11/20 第2回理事会

- 11/27 高野山弘法大師奉賛会総会 代表講演
- 11/30-12/4 AWHM スタディツアー
- 12/3 アンコールワット国際ハーフマラソン
- 12/17 第13回日本語コンクール HG ももたろう生徒参加
- 12/17 第42回山陽女子ロードレース大会 出展
- 12/22 岡山学芸館高校フィールドワーク受入 (日本語・NCCC)

主な活動予定 (2024 年前半) 変更あり

- 1/11,15 岡山学芸館清秀中学校研修旅行受入
- 2月 NIPES 本邦研修
第3回理事会
- 2/7 岡山せとうち LC 例会 活動報告
- 3/17 淀川マラソン&ウォーク 2024
- 3月 パラ陸上競技会
- 4/21 かすみがうらマラソン 2024
- 6/5 藤沢 RC70 周年記念式典 代表講演
- 6月 理事会・総会・会員交流会

事務局より

*メールアドレスの登録

通信やお知らせ等をメール配信しています。郵送での受取から変更を希望される方は、右 QR コードをスマートフォンなどで読み込み、登録用の画面で手続きをしてください。



@hofg.org からのメールを受信できるようご自身のメール受信設定のご確認を併せてお願い致します。

*集めています

未使用の切手、レターパック、書き損じはがき、QUO カード、商品券などご寄付ください。本部事務局までお送りください。なお、テレフォンカード、書き損じはがきは「寄贈品」扱いとなり、額面の寄付とはなりませんので、ご了承ください。

*あなたの想いを形にしませんか

相続財産、または、遺贈としての寄付をお願いしております。ご寄付には相続税がかかりません。

ご支援ありがとうございます

(2023 年 4 月～ 9 月・敬称略)

サポーター大募集!!

小さな支援が集まり 大きな力になります

支える

正会員になる【個人 / 法人】

個人 3,000円/年
法人 30,000円/年

※ 総会の議決権を有します。

賛助会員になる【個人 / 法人】

個人会員 10,000円/年
法人会員 50,000円/年

※ 寄付金受領証明書を発行。
税制上の優遇措置の対象
となります。

寄付をする

- プロジェクト寄付 -

特定の活動を応援したい!!
現地から活動報告が届き、
活動現場の訪問もできます。

- ① ハート・ペアレント(里親制度)
- ② 日本語教育
- ③ 留学生
- ④ 障害者スポーツ
- ⑤ スポーツ施設・用具(学校)

- 一般寄付 -

その時最も必要としている
活動、また、団体の運営に
も充てさせていただきます。

- 物資寄付 -

お手許の使わないものが
役に立ちます。

- ・スポーツ用品・用具
- ・石鹸・タオル等日用品
(新品に限らせていただきます)
- ・文具・教材・本・絵本
- ・書き損じはがき、未使用切手
- ・QUOカード等(プリペイド式)

HGは、認定NPO法人です。法人、個人ともに、ご寄付は、税制上の優遇措置が
受けられます。「相続寄付」「遺贈」についても、ご相談ください。

参加する

ボランティア

個人で、グループで、活動の
お手伝いをしていただけませ
んか? 本部事務局での事務や
イベントのサポート、専門的
な知識や技術(IT、デザイン、
通訳・翻訳)をお持ちの方を
募っています。シニアの方にも
ご活躍いただいています!

インターンシップ

国際協力・開発、教育、
スポーツに関心のある
大学生や社会人の方を
対象に、1カ月~1年の
期間で、本部事務局・
東南アジア事務所にて
受け入れています。
ともに活動しましょう!

スタディ・ツアー

HGスタディ・ツアー
年1回。HGの現地での活動
に直接触れることができる貴
重な体験となります。

※ 研修やフィールド・ワーク、
ゼミ旅行等、HGの活動現場で
「学び」のお手伝いをします。
是非、ご相談ください。

みなさまのご支援、ご参加をお待ちしています!

年次報告書と通信(2回/年)の送付、交流会や特別イベントのご案内をさせていただきます。

認定特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド

〒701-1213 岡山市北区西辛川895-7-101 Tel/Fax 086-284-9700 e-mail: hginfo@hofg.org